

一般会計の主な内容

一般会計は、財務会計システム構築事業、乳幼児医療費給付事業、予防接種事業、柳沢上郷2号線外1路線道路改良舗装事業を柱に、1億6886万円を追加し、予算総額を159億9829万円としました。

歳入では、固定資産税が減っているものの、個人市民税が増えています。

また、歳出では、現在の財務システムのリース期間を延長することに伴うシステムの構築事業や、乳幼児対象者の増加と診療報酬改定による単価増に対応する乳幼児医療費給付事業、また予防接種においては、ポリオ予防接種が生ワクチンから不活化ワクチンに変更されることに伴い、集団接種から個別接種に変更することによる事業費の増、また柳沢上郷2号線などを改良舗装するための増額となっております。

〈24年度各会計予算〉 [いずれも原案可決] (千円以下切り捨て)

議案等番号	会計名	補正額	補正後の総額		
議案第1号	一般会計(補正第6号)	1億6886万円	159億9829万円		
議案第2号	特別会計	国民健康保険(第3号)	△36万円	50億3820万円	
議案第3号		後期高齢者医療(第2号)	158万円	2億4756万円	
議案第4号		介護保険(第3号)	△51万円	26億5856万円	
議案第5号		介護保険介護サービス事業(第2号)	615万円	1936万円	
議案第6号		下水道事業(第3号)	△6727万円	9億2144万円	
議案第7号		簡易水道事業(第3号)	△32万円	3億2451万円	
議案第8号		水道事業会計	収益的	収入	△2395万円
	支出			△3270万円	7億4364万円
	資本的		収入	△1億4800万円	1億7011万円
			支出	△1324万円	7億6733万円

12人が聞ききたい！一般質問

市制移行カウントダウン
ディスプレイの効果は
住民の期待の高まり
につながっています



新志会
佐藤 美喜子議員

問 市制移行まで、あと一年。百二十四年続いた滝沢村を閉じるにあたり、これまでを振り返り、この先を考える重要な年になります。自然・歴史・農水畜産物・郷土芸能など本村の宝を見直し次世代につなぐため、そして誇りを持って新市の誕生を迎えるために以下について質問致します。

答 現在役場にケースを置き展示しています。28年度開設予定の産業雇用創造センターに観光・産業物産センターを設置し展示する予定です。

問 滝沢らしさは「ある物探し」で村の魅力に気づき新しい「らしさ」を作る事も大切だと思いますが考えは。

答 小学校では「将来の滝沢への夢」をテーマに作文コンクールを実施、全中学校では村長とお気軽トークを実施しました。

問 八月に開催した村指定文化財見学会の成果と課題は。

答 文化財の価値、場所などを再確認できたと好評でした。今後はもっと幅広いテーマで充実した見学会になるように取り組みます。

一人一スポーツ参加で
28年国体に向け
住民意識の向上を



川原 清議員

問 2031年には本村も超々高齢社会となるという予測数字が発表されており、将来の医療費などの高騰化が心配され、全村民の健康づくりが求められております。そこで

答 各学校の体育館とスポーツ施設を地域に開放すべきでは。体操などへの参加者数を競う全国チャレンジデーという行事があります。そのへの参加の意志は。村営のグラウンドゴルフ場の建設の考えは。

問 滝沢村誌の続編の発行は。

答 閉村で「滝沢村史」の発行予定。

答 役場、公民館、東部出張所、ふるさと交流館、総合公園体育館の5ヶ所に設置し市制移行の意識高揚に役立っています。

答 まちづくり推進委員会が地域に眠る宝を発掘している所もあります。今後はそれらの団体と共に村の魅力を探求し滝沢らしさを見出し発信します。



問 教育現場での市制移行に関する取り組みは。

答 小学校では「将来の滝沢への夢」をテーマに作文コンクールを実施、全中学校では村長とお気軽トークを実施しました。

答 国から22年にスポーツ立国戦略が示され、村としても28年の国体に向け住民意識の高揚に努めます。

答 「第5次スポーツ推進計画」の策定で、教育委員会や健康福祉部との連絡調整をして素案を策定しています。

